

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【公開番号】特開2020-140010(P2020-140010A)

【公開日】令和2年9月3日(2020.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2020-036

【出願番号】特願2019-34146(P2019-34146)

【国際特許分類】

G 0 2 B	5/30	(2006.01)
C 0 9 J	133/00	(2006.01)
C 0 9 J	7/10	(2018.01)
C 0 9 J	7/38	(2018.01)
B 3 2 B	7/022	(2019.01)
G 0 9 F	9/00	(2006.01)
G 0 6 F	3/041	(2006.01)

【F I】

G 0 2 B	5/30	
C 0 9 J	133/00	
C 0 9 J	7/10	
C 0 9 J	7/38	
B 3 2 B	7/022	
G 0 9 F	9/00	3 1 3
G 0 9 F	9/00	3 6 6 A
G 0 6 F	3/041	4 9 5

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前面板と、第1粘着剤組成物を用いて形成された第1粘着剤層と、偏光子層と、第2粘着剤組成物を用いて形成された第2粘着剤層と、背面板と、をこの順に含み、

前記第1粘着剤組成物および前記第2粘着剤組成物は、いずれも(メタ)アクリル系ポリマーを含み、

前記(メタ)アクリル系ポリマーは、反応性官能基を有するモノマーに由来する構成単位が、前記(メタ)アクリル系ポリマーの全質量を基準に5質量%未満であり、かつ重量平均分子量(Mw)が20万以上150万以下であり、

前記偏光子層は、二色性色素を吸着させた延伸フィルムまたは延伸層、あるいは二色性色素を塗布し硬化させてなる層を有し、

前記第1粘着剤層の温度25でのせん断応力緩和率をR1、前記第2粘着剤層の温度25でのせん断応力緩和率をR2とすると、下記の関係式(1')：

R1 > R2 (1')

を満たす、積層体。

【請求項2】

前記第1粘着剤組成物を用いて形成された厚さ150μmの第1基準粘着剤層の温度2

5 でのせん断応力緩和率を $R_0 1$ 、前記第2粘着剤組成物を用いて形成された厚さ 150 μm の第2基準粘着剤層の温度 25 でのせん断応力緩和率を $R_0 2$ 、とすると、下記の関係式(2)及び(3)：

$$0.02 R_0 1 = 0.25 \quad (2)$$

$$0.02 R_0 2 = 0.25 \quad (3)$$

を満たす、請求項1に記載の積層体。

【請求項3】

前記背面板は、タッチセンサパネルである、請求項1又は2に記載の積層体。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の積層体を含む表示装置。

【請求項5】

前記前面板側を外側にして屈曲可能である、請求項4に記載の表示装置。